Dell™ Inspiron™ 9300

オーナーズマニュアル

モデル PP14L

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、警告

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧表は、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。

モデル PP14L

2005 年 9 月　　P/N J7737　　Rev. A03

目次

4 CD、DVD、およびその他のマルチメディアの使い方

5 キーボードとタッチパッドの使い方

6 PC カードの使い方

7 家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

8 問題の解決

9 部品の拡張および交換

10 付録

情報の検索方法

メモ： 機能の中にはお使いのコンピュータ、あるいは国によって利用できない場合があります。

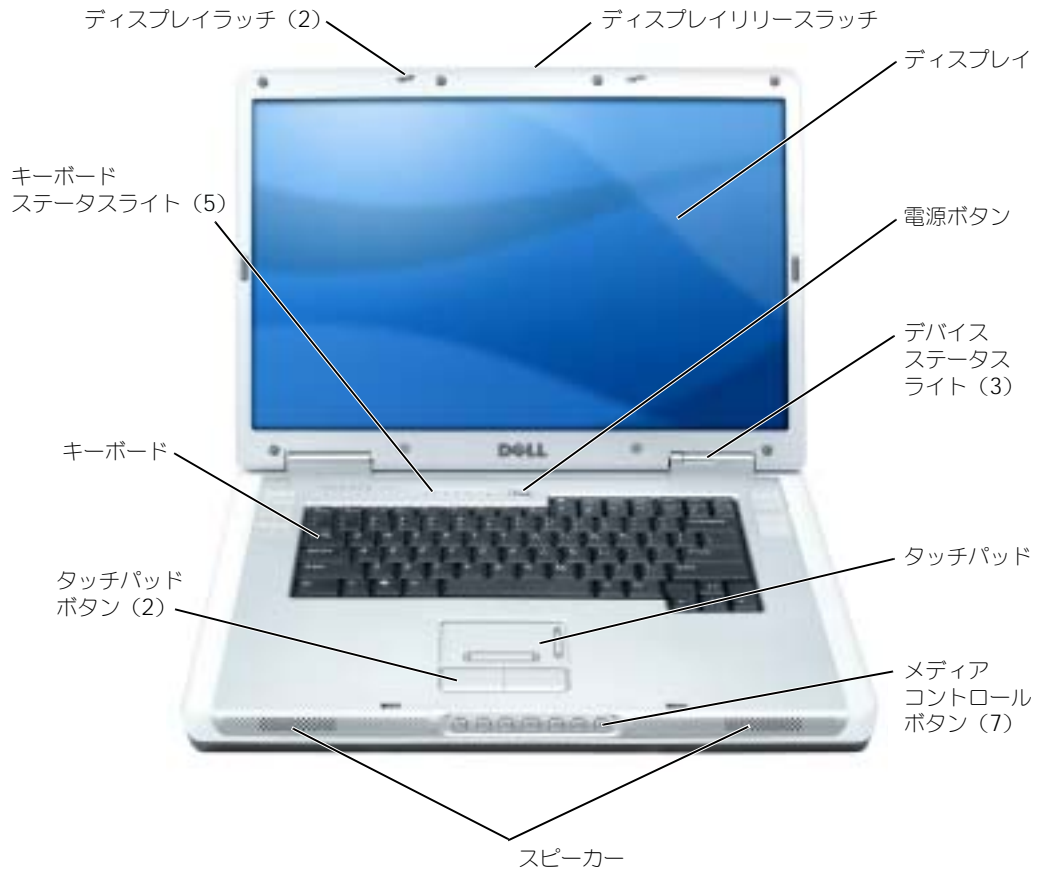
メモ： 追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• 安全にお使いいただくための注意 • 認可機関の情報 • 作業姿勢に関する情報 • エンドユーザライセンス契約	**Dell™ 製品情報ガイド**
• コンピュータのセットアップ方法	**セットアップ図**
• Microsoft® Windows® の使用に関するヒント • CD および DVD の使用方法 • スタンバイモードおよび休止状態モードの使用方法 • 画面解像度の変更方法 • コンピュータのクリーニング方法	**ヘルプファイル** 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2 **ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。 3 **Dell Inspiron ヘルプ** をクリックします。

何をお探しですか？	こちらをご覧ください
• サービスタグとエクスプレスサービスコード • Microsoft Windows ライセンスラベル	**サービスタグおよび Microsoft Windows ライセンス** ラベルはお使いのコンピュータの底面に貼られています。 • サービスタグは、**support.jp.dell.com** をご参照の際、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。
• 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q&A • サービスと保証 — 問い合わせ先、保証、および修理に関する情報 • サービスおよびサポート — サービス契約 • 参照資料 — コンピュータのマニュアル、コンピュータの設定の詳細、製品の仕様、およびホワイトペーパー • ダウンロード — 認定されたドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート • ノートブックシステムソフトウェア（NSS）— オペレーティングシステムをコンピュータに再インストールする場合は、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、Dell™ 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel® Pentium® M プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスをサポートします。NSS は、Dell コンピュータを正しく動作させるために必要です。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。 ノートブックシステムソフトウェアは、**support.jp.dell.com** にてダウンロードできます。	**デルサポートサイト — support.jp.dell.com** **メモ：**企業、自治体、および教育機関のお客様向けにカスタマイズされた、デルプレミアサポートウェブサイト（**premier.dell.co.jp/premier/**）もご利用いただけます。
• Windows XP の基本情報 • コンピュータのマニュアル • デバイス（モデムなど）のマニュアル	**Windows ヘルプとサポートセンター** 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。 2 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。 3 問題に関連するトピックをクリックします。 4 画面に表示される指示に従ってください。

1

お使いのコンピュータの各部

正面図

ディスプレイラッチ — ディスプレイを閉じておくために使用します。

ディスプレイリリースラッチ — ディスプレイラッチをリリースして、ディスプレイを開くには、これをスライドさせます。

ディスプレイ — ディスプレイの詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

電源ボタン — 電源ボタンを押すと、コンピュータの電源が入るか、または省電力モードに入ります。

注意：コンピュータの電源を切るときにデータの損失を防ぐには、電源ボタンを押さずに **スタート** メニューからコンピュータをシャットダウンします。

デバイスステータスライト

コンピュータの電源を入れると点灯し、コンピュータが省電力モードになっていると点滅します。

コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。

注意：データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。

バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 のライトは次のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中。
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電完了。

コンピュータをバッテリーで作動している場合、 のライトは次のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されています（または、コンピュータの電源が切れています）。
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下しています。

タッチパッド — マウスの機能と同じように使用できます。

メディアコントロールボタン — CD、DVD、およびメディアプレーヤの再生をコントロールします。

	消音にします。
	音量を下げます。
	音量を上げます。
▶/II	一時停止および再生をします。このボタンはまた、Dell Media Experience や Microsoft® Windows® Media Center Edition を始動します。31 ページの「MediaDirect の使い方」を参照してください。
⏮	直前のトラックを再生します。
⏭	直後のトラックを再生します。
■	停止。

スピーカー — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、メディアコントロールボタンまたはスピーカー音量のキーボードショートカットを押します。詳細は、43 ページの「スピーカー関連」を参照してください。

タッチパッドボタン — タッチパッドボタンは、マウスボタンと同じ機能を提供します。

キーボード — キーボードには、テンキーパッドや Windows ロゴキーなどが含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットの状態については、42 ページの「キーの組み合わせ」を参照してください。

キーボードステータスライト

キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

	テンキーパッドが有効になると点灯します。
	英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
	Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。
	ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。ワイヤレスネットワークを有効にしたり無効にしたりするには、<Fn><F2> を押します。
	Bluetooth® ワイヤレステクノロジカードが有効になると点灯します。 **メモ：**Bluetooth ワイヤレステクノロジカードはオプション機能です。コンピュータに Bluetooth 機能が付いている場合にのみ ライトが点灯します。詳細に関しては、カードに同梱のマニュアルを参照してください。 Bluetooth ワイヤレステクノロジ機能のみを無効にするには、Windows 通知領域（画面右下隅）で アイコンを右クリックして、**Bluetooth ラジオの無効化** をクリックします。 すべてのワイヤレスデバイスを素早く有効または無効にするには、<Fn><F2> を押します。

左側面図

オプティカルドライブ — DVD ドライブなどのデバイスやその他のオプティカルドライブは、オプティカルドライブベイに取り付けることができます。詳細は、93 ページの「オプティカルドライブ」を参照してください。

オプティカルドライブトレイ取り出しボタン — このボタンを押して、CD または DVD をオプティカルドライブから取り出します。このボタンが機能するのは、コンピュータの電源が入っている場合だけです。

USB コネクタ — マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブを、オプションのフロッピードライブケーブルを使って直接 USB コネクタに接続することもできます。

通気孔 — コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

セキュリティケーブルスロット — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。

注意 : 盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているかどうかを確認してください。

右側面図

SD I/O スロット — SD I/O スロットは、SD メモリカードまたはその他の SD I/O デバイス 1 つに対応しています。SD メモリカードは、データの保存またはバックアップに使用します。

通気孔 — コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

⚠ **警告：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。**

オーディオコネクタ

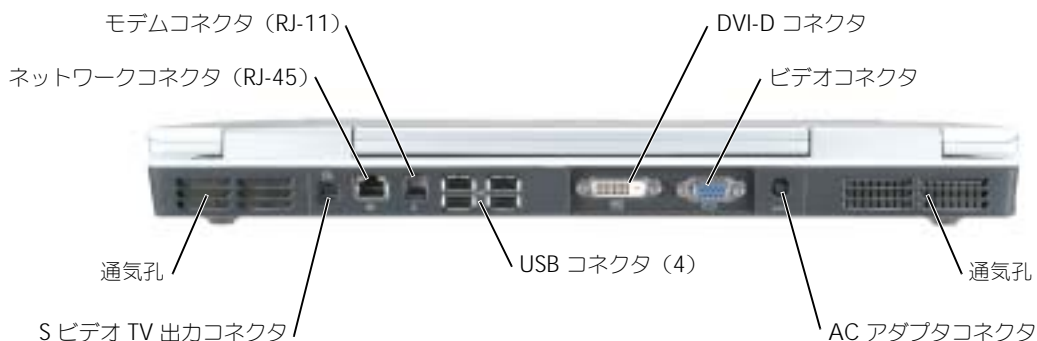
のコネクタにはヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。

のコネクタにはマイクを接続します。

IEEE 1394 コネクタ — デジタルビデオカメラなど、IEEE 1394 高速転送速度をサポートするデバイスを接続します。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。

PC カードスロット — モデムまたはネットワークアダプタなどの PC カードを 1 枚サポートします。コンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

背面図

デジタルビデオインタフェース（DVI）コネクタ

外付け DVI 対応モニターを接続します。アダプタケーブルを使って、外付けの VGA 対応モニターを DVI コネクタに接続することもできます。

ビデオコネクタ

外付け VGA 対応モニターを接続します。詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

通気孔 — コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

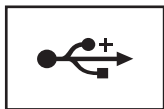
警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

AC アダプタコネクタ — AC アダプタをコンピュータに接続します。

AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

警告 : AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

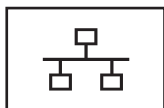
注意 : ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

USB コネクタ

マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。

S ビデオ TV 出力コネクタ

コンピュータを TV に接続します。TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを使って、デジタルオーディオ対応デバイスにも接続できます。

ネットワークコネクタ（RJ-45）

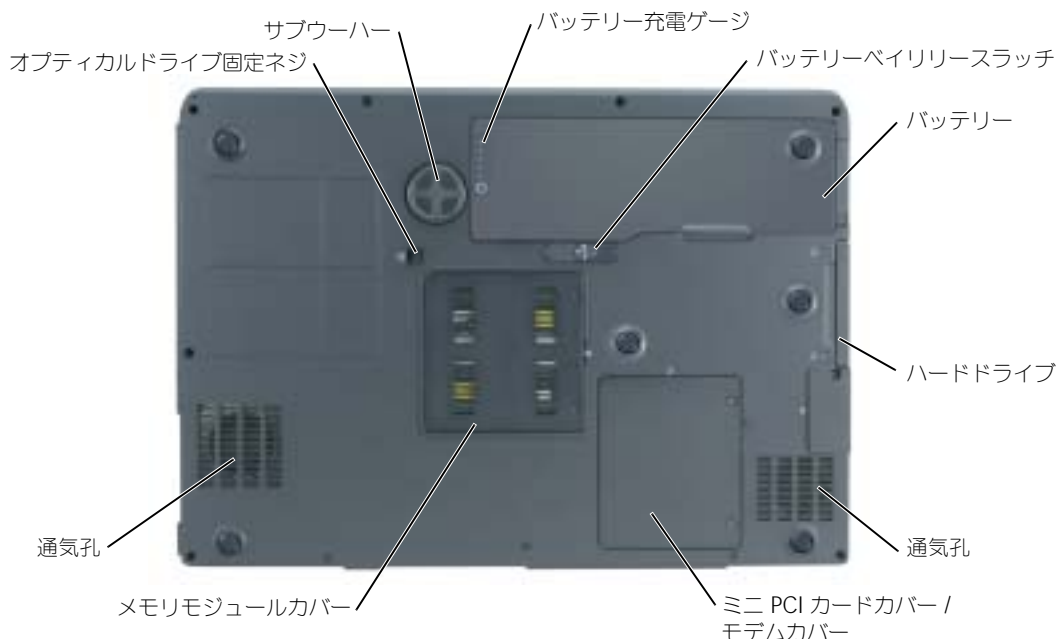
注意 : ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの隣にある緑、橙色、および黄色のライトは、通信回線に接続されたネットワーク通信のアクティビティを示します。緑は 10 Mb/sec リンク、橙色は 100 Mb/sec リンク、黄色はアクティビティをそれぞれ示します。

ネットワークアダプタの使い方に関する詳細に関しては、システムに付属しているオンラインネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

モデムコネクタ（RJ-11）

内蔵モデムを使用するには、電話線をモデムコネクタに接続します。

モデムの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください。

底面図

バッテリー充電ゲージ — バッテリー充電の情報を提供します。詳細に関しては、26 ページの「バッテリーの充電チェック」を参照してください。

バッテリーベイリリースラッチ — バッテリーをバッテリーベイから取り外すのに使用します。詳細に関しては、27 ページの「バッテリーの取り外し」を参照してください。

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使うことができます。詳細に関しては、25 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

ハードドライブ — ソフトウェアおよびデータを保存します。詳細に関しては、79 ページの「ハードドライブ」を参照してください。

通気孔 — コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

 警告 : 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

ミニ PCI カードカバー / モデムカバー — ミニ PCI カードとモデムが収容されている実装部のカバーです。詳細に関しては、84 ページの「モデム」を参照してください。

メモリモジュールカバー — メモリモジュールが収容されている実装部のカバーです。詳細に関しては、82 ページを参照してください。

オプティカルドライブ固定ネジ — オプティカルドライブをオプティカルドライブベイに固定します。詳細に関しては、93 ページの「オプティカルドライブ」を参照してください。

サブウーハー — スピーカーよりも広範囲のバス出力を実現します。

2

コンピュータのセットアップ

インターネットへの接続

メモ : ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. Microsoft® Windows® デスクトップの **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
3. 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合、次の手順を実行します。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2. **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。

   新しい接続ウィザード が表示されます。
3. **インターネットに接続する** をクリックします。
4. 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
   - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ（ISP）の一覧から選択する** をクリックします。
   - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであるがセットアップ CD をお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
   - CD をお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選んだ場合、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。

メモ：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

6 **インターネットにどう接続しますか？** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。

7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合、57 ページの「E- メール、モデム、およびインターネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

プリンタの設定

注意：オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

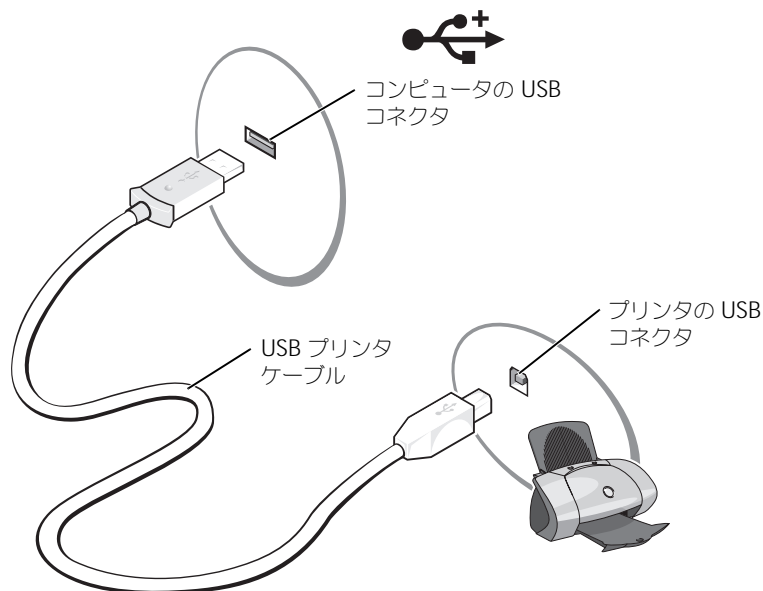
- アップデートされたドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け
- プリンタのテクニカルサポートについては、プリンタの『オーナーズマニュアル』を参照するか、プリンタの製造業者までお問い合わせください。

プリンタケーブル

USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性があることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルを購入された場合は、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

USB プリンタの接続

メモ：USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
2 コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。

3 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。**新しいハードウェアの追加ウィザード** ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。
4 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ（回線調整装置）
- 無停電電源装置（UPS）

サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクション機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。通常、保護レベルはサージプロテクタの価格と見合ったものになります。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

注意 : ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

注意 : すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから抜いてください。

ラインコンディショナ

注意 : ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

無停電電源装置（UPS）

注意 : データをハードドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

メモ : バッテリーの最大駆動時間を確保するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクションの付いた別の電源タップに接続します。

UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリーを備えています。バッテリーは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリーの駆動時間についての情報、および装置が UL（Underwriters Laboratories）規格に適合しているか確認するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。

3

バッテリーの使い方

バッテリーの性能

警告：本章の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータは、常にメインバッテリーを搭載した状態でお使いください。コンピュータがコンセントに接続されていない場合、バッテリーを使用してコンピュータに電力を供給します。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

メモ：バッテリー駆動時間（バッテリーが充電を保持できる時間）は時間の経過とともに低下します。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。

- DVD+RW および DVD+R ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、PC カード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合。詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

メモ：CD や DVD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。

コンピュータにバッテリーを取り付ける前後にバッテリーの充電を確認できます。バッテリーの充電量が少なくなると、警告を発するように電源管理のオプションを設定することもできます。

警告：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。リチウムイオンバッテリーは、お使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。他のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

警告：バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（電話 044-556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリーの廃棄」を参照してください。

警告：バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 ℃ を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリメーター、Microsoft® Windows® **電源メーター** ウィンドウと アイコン、バッテリー充電ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

Dell QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合は、<Fn><F3> を押して QuickSet バッテリメーターを表示します。Dell QuickSet の詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

バッテリメーター ウィンドウは、お使いのコンピュータの現在の状況、充電レベル、および充電完了時間を表示します。

バッテリメーター ウィンドウに以下のアイコンが表示されます。

	コンピュータはバッテリー電源で動作している。
	コンピュータが AC 電源に接続されていて、バッテリーが充電中である。
	コンピュータが AC 電源に接続されていて、バッテリーがフル充電されている。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

Microsoft Windows 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの アイコンをダブルクリックします。電源メーターの詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルの「電源メーター」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーの充電ゲージにあるボタンを押すと、充電レベルインジケータライトが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないことになります。

バッテリーの低下を知らせる警告

注意 : データの損失またはデータの破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告音が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続します。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの全充電量の約 90 % を消費した時点で発せられます。バッテリ低下アラームの詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルの「電力の管理」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

バッテリーの充電

メモ : 完全に切れてしまったバッテリーを AC アダプタで充電するには、コンピュータの電源が切れている状態で約 2 時間かかります。コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリーを充電したまま、コンピュータをそのままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路によって過剰充電が防止されます。

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合は、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

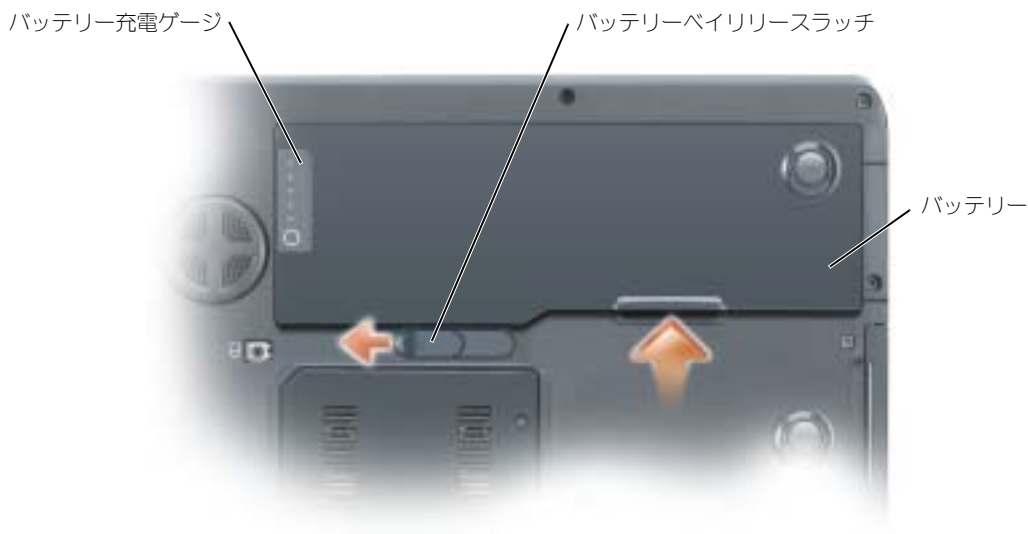
バッテリーの問題の解決の詳細に関しては、64 ページの「電源の問題」を参照してください。

バッテリーの取り外し

警告 : まずモデムを壁の電話プラグから抜いてから、この項の作業を行ってください。

1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。

2 コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

3 コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドしたまま、ベイからバッテリーを取り外します。

バッテリーの取り付け

⚠ **警告：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。リチウムイオンバッテリーは、お使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。他のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。**

1 バッテリーの縦方向を 45 度の角度でベイの中にスライドさせて入れます。
2 もう一方を押し入れて、リリースラッチがカチッと所定の位置に収まるようにします。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリーを再充電してください。

4

CD、DVD、およびその他のマルチメディアの使い方

CD および DVD の使い方

お使いのコンピュータでの CD および DVD の使用方法については、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

CD および DVD のコピー

メモ： CD または DVD を作成する際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

本項は、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、または DVD/CD-RW コンボドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。

メモ： デルにより提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、CD または DVD を完全にコピーする方法について説明します。Sonic DegitalMedia は、コンピュータにあるオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD を作成するなど、その他の目的にも使用することができます。Sonic DegitalMedia の手順については、コンピュータに付属の Sonic DegitalMedia のマニュアルを参照してください。Sonic DegitalMedia を開き、ウィンドウの右上にある疑問符（?）のアイコンをクリックし、**DegitalMedia のヘルプ** または **DegitalMedia チュートリアル** をクリックします。

CD または DVD のコピーの仕方

メモ： DVD/CD-RW コンボドライブがあり、コピー中に問題が生じた場合は、Sonic サポートウェブサイト **www.sonicjapan.co.jp** で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

現在、次の 5 種類の DVD 書き込み用ディスクフォーマットが利用可能です。DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW、および DVD-RAM です。Dell™ コンピュータに取り付けられている DVD 書き込み用ドライブは、DVD+R および DVD+RW メディアに書き込みをしたり、DVD-R および DVD-RW メディアを読み取ったりすることができます。ただし、DVD 書き込みドライブでは、DVD-RAM メディアへの書き込みはできません。また、読み込みもできないことがあります。さらに、市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、5 種類すべてのフォーマットが読み取れるとは限りません。

メモ： 市販の DVD のほとんどは、著作権を保護されているので、Sonic DegitalMedia を使用してコピーすることはできません。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **DegitalMedia** とポイントし、**DegitalMedia** をクリックします。
2. コピーする CD または DVD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブのいずれかをクリックします。

3 **バックアップ** をクリックします。
4 CD または DVD へのコピーは次の手順を実行します。
   - CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブの一時フォルダにコピーします。

     プロンプトが表示されたら、CD または DVD ドライブに空の CD または DVD を挿入し、**OK** をクリックします。
   - CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

   ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD-R および CD-RW の使い方

お使いの CD-RW ドライブは、CD-R および CD-RW（高速 CD-RW を含む）の 2 種類の違ったタイプの記録メディアに書き込みができます。音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。空の CD-RW は、CD へのデータの書き込み、削除、再書き込み、およびアップデートを行うのに使用します。

お使いの DVD 書き込み可能ドライブは、CD-R、CD-RW（高速 CD-RW を含む）、DVD+R、および DVD+RW の、4 種類の違ったタイプの記録メディアに書き込むことができます。空の DVD+R は、大量の情報を永久保存することができます。DVD+R ディスクを作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」された場合、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+RW を使用してください。

便利なヒント

- Sonic DegitalMedia を開始し、DegitalMedia プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® Explorer を使用してファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ＆ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用する必要があります。CD-RW はほとんどの自宅または車のステレオで再生することはできません。
- Sonic DegitalMedia を使用して、オーディオ DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1 MB または 2 MB の空きがあることが必要です。
- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。
- 詳細に関しては、Sonic ウェブサイト **www.sonicjapan.co.jp** を参照してください。

MediaDirect の使い方

メモ： QuickSet はお使いのコンピュータに自動的にインストールされ、有効になっており、MediaDirect を機能させるために必要です。QuickSet のデフォルトの設定を変更したり無効にしたりすることで、MediaDirect の機能を制限することができます。Dell QuickSet の詳細に関しては、Dell Inspiron ヘルプファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

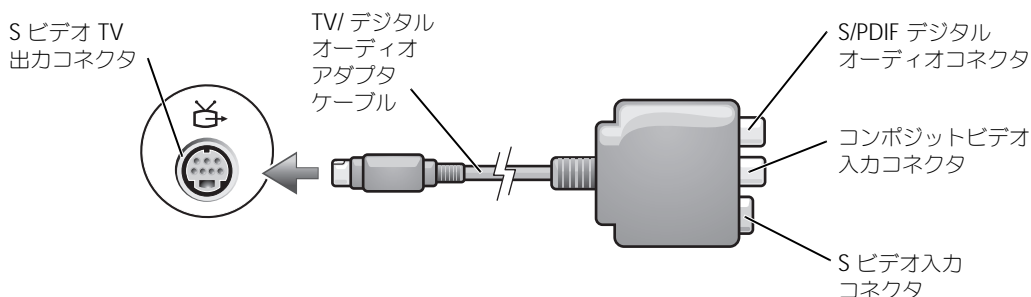
Microsoft Windows Media Center Edition または Dell Media Experience がインストールされている場合、MediaDirect のメディアコントロール再生ボタン ▶/II を押すことにより、メディアアプリケーションを始動させることができます。

- ログインしている間にメディアコントロール再生ボタンを 2 秒以上押し続けると、お使いのシステムの設定によっては、MediaDirect が Microsoft Windows Media Center Edition または Dell Media Experience を始動させます。両方のアプリケーションが存在する場合は、Windows Media Center Edition が始動されます。
- お使いのコンピュータが開いているときは、メディアコントロール再生ボタンを押してどのような状態からでもコンピュータを開始し、メディアアプリケーションを自動的に始動できます。

メモ： 効率をよくするためには、休止状態またはスタンバイモードから始動してください。

テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続

メモ：テレビまたはその他のオーディオデバイスとコンピュータを接続するビデオケーブルとオーディオケーブルは、お使いのコンピュータには付属していません。必要なケーブルは、お近くの電気店でお買い求めください。

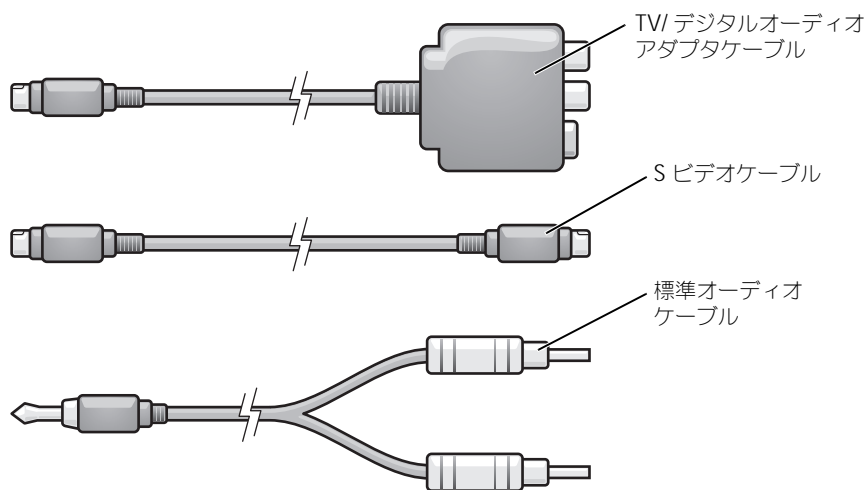
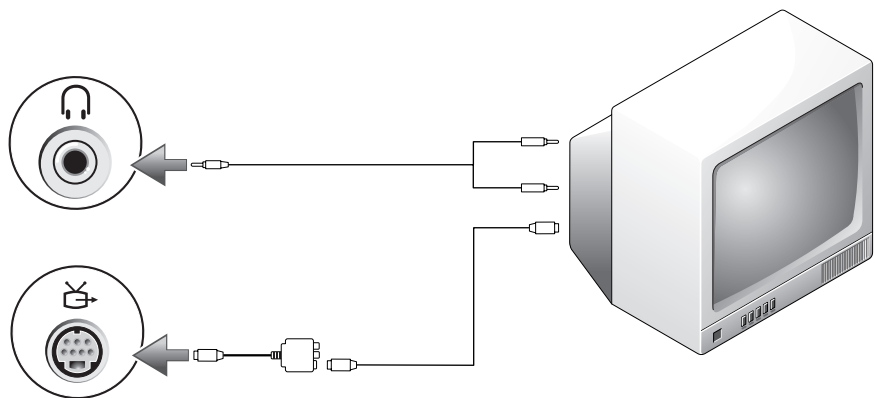
お使いのコンピュータには、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブル（同梱されていません）と共に使用して、テレビやステレオオーディオデバイスとコンピュータを接続できる S ビデオ TV 出力コネクタがあります。TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルのコネクタは、S ビデオケーブル、コンポジットビデオケーブル、および S/PDIF デジタルオーディオケーブルに使用できます。

お使いのテレビには、S ビデオ入力コネクタまたはコンポジットビデオ入力コネクタのいずれかがあります。テレビで使用可能なコネクタのタイプによって、市販の S ビデオケーブルまたはコンポジットビデオケーブルを使用してコンピュータをテレビに接続できます。S/PDIF デジタルオーディオに対応していないテレビやオーディオデバイスには、コンピュータ側面にあるオーディオコネクタを使って、テレビまたはオーディオデバイスにコンピュータを接続します。

以下の組み合わせの 1 つを使って、ビデオケーブルおよびオーディオケーブルをコンピュータに接続することをお勧めします。

メモ：どの方法をお使いになるかを決める際の参考として、各サブセクションのはじめにある接続の組み合わせ図を参照してください。

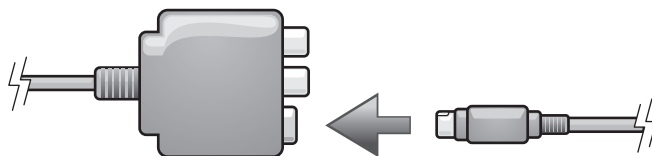
- S ビデオおよび標準オーディオ（33 ページ）
- S ビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ（34 ページ）
- コンポジットビデオおよび標準オーディオ（36 ページ）
- コンポジットビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ（37 ページ）

コンピュータとテレビをビデオケーブルおよびオーディオケーブルで接続し終わったら、コンピュータとテレビが機能するようにコンピュータを有効にする必要があります。コンピュータが TV を認識し、適切に動作していることを確認するには、39 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照してください。また、S/PDIF デジタルオーディオをお使いの場合は、39 ページの「オーディオ設定の変更」を参照してください。

S ビデオおよび標準オーディオ

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

メモ : お使いのテレビまたはオーディオデバイスが S ビデオ対応で、S/PDIF デジタルオーディオ対応ではない場合、S ビデオケーブルを直接、コンピュータの S ビデオ出力コネクタに（TV/ デジタルオーディオケーブルを使用しないで）接続できます。

2 TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。

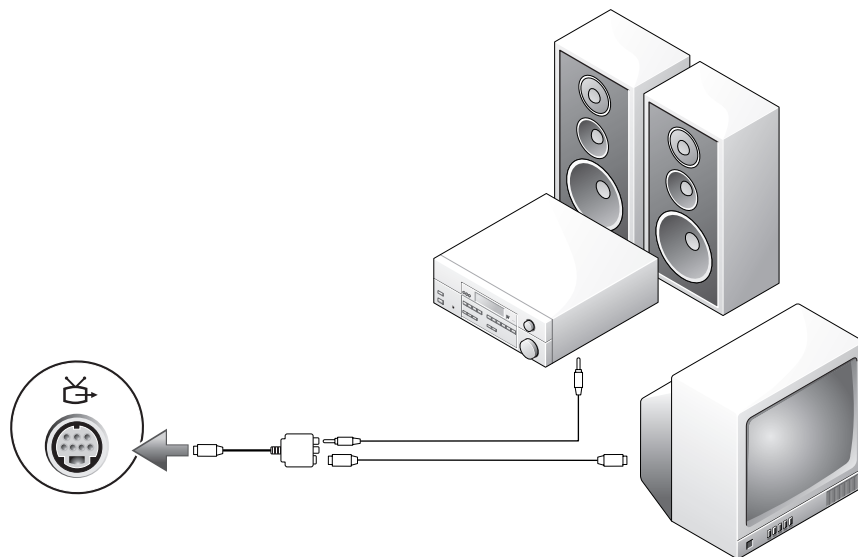
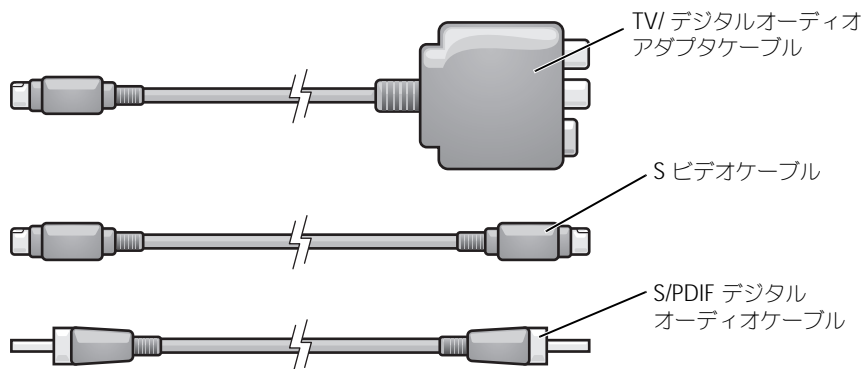
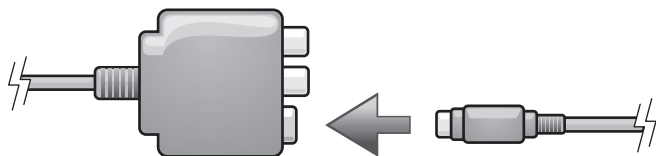
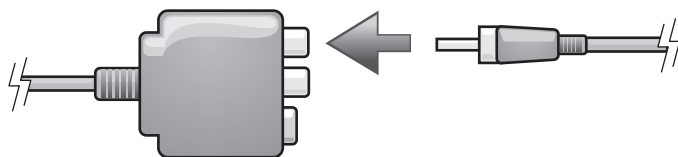
3 S ビデオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。

4 S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。

5 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

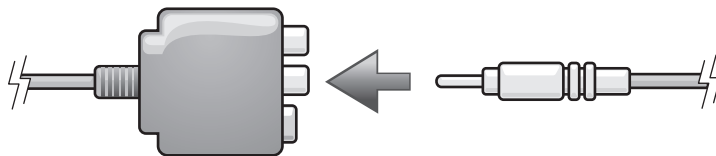
6 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8 コンピュータが TV を認識し、適切に動作していることを確認するには、39 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照してください。

S ビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2 TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3 S ビデオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。

4 S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。
5 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルのデジタルオーディオコネクタに差し込みます。

6 S/PDIF デジタルオーディオケーブルのもう片方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
8 コンピュータが TV を認識し、適切に動作していることを確認するには、39 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照してください。

コンポジットビデオおよび標準オーディオ

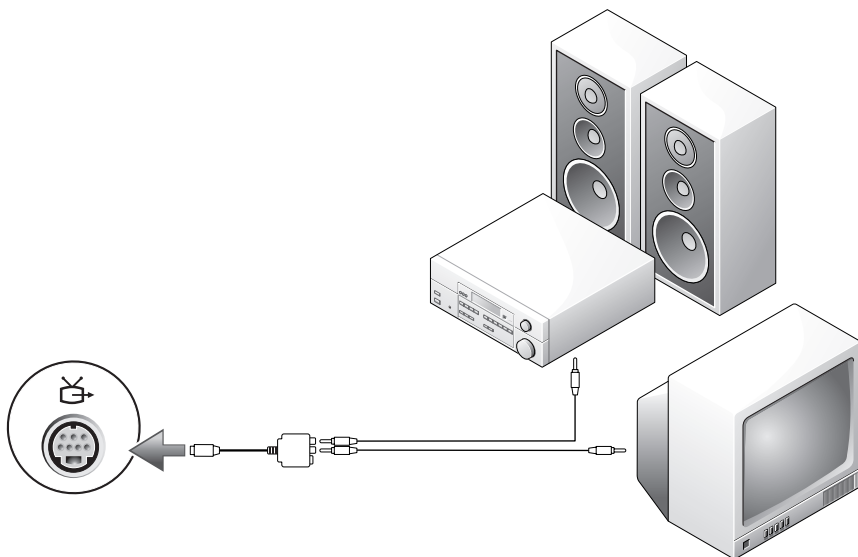
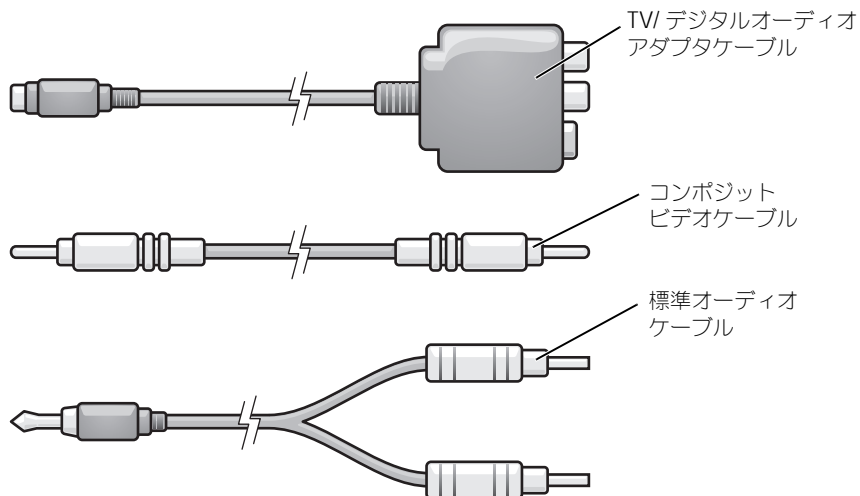
1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2 TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3 コンポジットビデオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。

4 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。

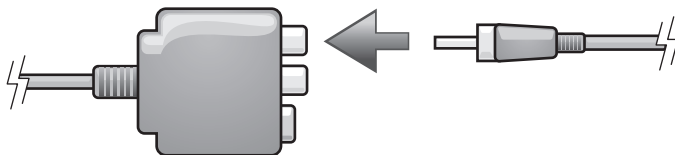
5 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

6 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8 コンピュータが TV を認識し、適切に動作していることを確認するには、39 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照してください。

コンポジットビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
2 TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
3 コンポジットビデオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。

4 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
5 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。

6 デジタルオーディオケーブルのもう片方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF オーディオ入力コネクタに差し込みます。
7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

8 コンピュータが TV を認識し、適切に動作していることを確認するには、39 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照してください。

オーディオ設定の変更

PC スピーカー、ヘッドフォン、または S/PDIF（デジタル出力）のスピーカーを設定できます。

1 **すべてのプログラム** メニューの **CyberLink PowerDVD** をダブルクリックします。
2 **Settings**（設定）をクリックします。
3 **DVD** をクリックします。
4 **Audio Settings**（オーディオ設定）をクリックします。
5 **スピーカー構成**で、希望の出力を選択します。
6 メインメニューに戻るには、**戻る** を 2 回クリックします。

手順 5 で **SPDIF** を選択した場合、以下の設定も確認してください。

a PowerDVD を終了します。
b Windows の通知領域でスピーカーアイコンをダブルクリックします。
c **オプション** メニューをクリックしてから、**トーン調整** をクリックします。
d **詳細設定** をクリックします。
e **S/PDIF を有効にする** をクリックします。
f **閉じる** をクリックします。
g **OK** をクリックします。
h PowerDVD を再度開きます。

7 DVD を DVD ドライブに挿入します。

DVD が自動的に実行されます。

テレビの表示設定の有効化

お使いのコンピュータに、ATI ビデオコントローラカードまたは NVIDIA ビデオコントローラカードのいずれかが取り付けられている場合があります。以下の中から、お使いのコンピュータに取り付けられているビデオコントローラに対応したサブセクションを参照してください。

ATI ビデオコントローラカード

メモ : 表示設定を有効にする前に、テレビが適切に接続されているか確認します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある **画面** をクリックします。
4 **設定** タブをクリックし、**詳細設定** をクリックします。
5 **画面** タブをクリックします。
6 **TV** ボタンの左上の角をクリックして、テレビを有効にします。
7 **OK** をクリックします。

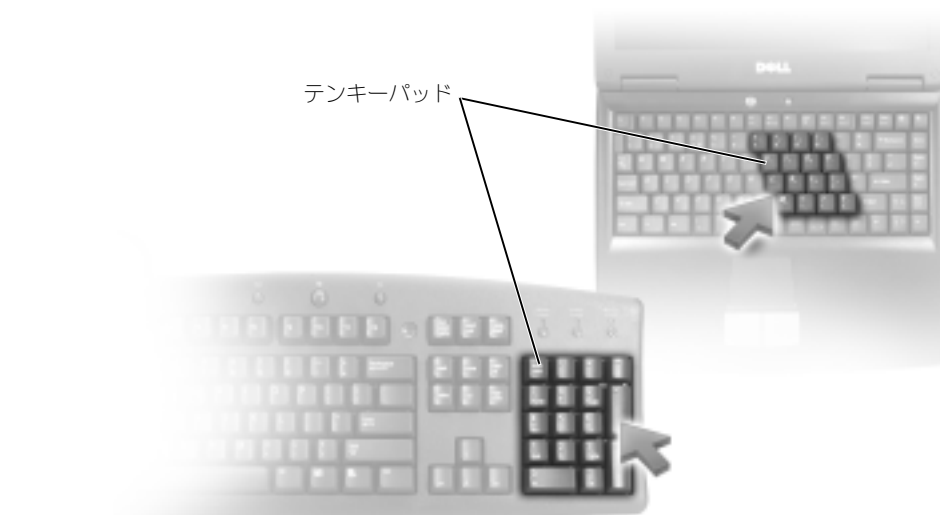
NVIDIA ビデオコントローラカード

メモ：表示設定を有効にする前に、テレビが適切に接続されているか確認します。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**設定** → **コントロールパネル** とポイントし、**画面** をクリックします。
2 **設定** タブをクリックし、**詳細設定** をクリックします。
3 **Nvidia GeForce** タブをクリックします。
4 メニューの左側から、**nView** をクリックします。
5 [**クローン**] をクリックして TV を有効にします。
6 **適用** をクリックします。
7 **OK** をクリックして、設定の変更を確定します。
8 **はい** をクリックし、新しい設定を保存します。
9 **OK** をクリックします。

5

キーボードとタッチパッドの使い方

テンキーパッド

テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーには、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、キーパッドを有効にし、<Fn> とご希望のキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。 のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

キーの組み合わせ

システム関連

<Ctrl><Shift><Esc>	**タスクマネージャ** ウィンドウを開きます。

バッテリー

<Fn><F3>	Dell™ QuickSet バッテリメーターを表示します。Dell QuickSet の詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

CD または DVD トレイ

<Fn><F10>	トレイをドライブから取り出します（Dell QuickSet がインストールされている場合）。Dell QuickSet の詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

ディスプレイ関連

<Fn><F8>	現在使用可能なディスプレイオプションのリストをすべて表示します。目的の状態をハイライトして、ディスプレイをその状態に切り替えます。
<Fn> と上矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。
<Fn> と下矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

無線通信（ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth® ワイヤレステクノロジを含む）

<Fn><F2>	ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth ワイヤレステクノロジを含む、無線通信を有効または無効にします。

電力の管理

<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **詳細設定** タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルの「電力の管理」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

<Fn><F1>	システムが休止状態モード（Dell QuickSet がインストールされている場合）に入ります。Dell QuickSet の詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

スピーカー関連

<Fn><Page Up>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を上げます。
<Fn><Page Dn>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を下げます。
<Fn><End>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）を有効または無効にします。

Microsoft® Windows® ロゴキー関連

Windows ロゴキーと <m>	すべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキーと <Shift><m>	最小化されたウィンドウを元に戻します。このキーの組み合わせの機能は、Windows ロゴキーと <m> のキーの組み合わせを使用した後で、最小化されたウィンドウを元に戻すための切り替えとして作動します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラが開きます。
Windows ロゴキーと <r>	**ファイル名を指定して実行** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキーと <f>	**検索結果** ダイアログボックスが開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	**検索結果ーコンピュータ** ダイアログボックスが開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキーと <Pause>	**システムのプロパティ** ダイアログボックスが開きます。

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**キーボード** をクリックします。コントロールパネルの詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドします。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたくか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

タッチパッドのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり、設定を調整できます。

1. コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**マウス** をクリックします。コントロールパネルの詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。
2. **マウスのプロパティ** ウィンドウの **タッチパッド** タブをクリックして、タッチパッドの設定を調整します。
3. **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

6

PC カードの使い方

PC カードのタイプ

サポートされる PCMCIA カードおよび PC カードスロットについては、95 ページの「仕様」を参照してください。

PC カードスロットには、タイプ I またはタイプ II のカード 1 枚に対応するコネクタが 1 つあります。PC カードスロットは、カードバステクノロジおよび拡張型 PC カードをサポートしています。カードの「タイプ」とは、その機能のことではなく、厚さのことを意味します。

PC カードのダミーカード

お使いのコンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに PC カードを取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ダミーカードを取り外すには、46 ページの「PC カードまたはダミーカードの取り外し」を参照してください。

拡張 PC カード

拡張型 PC カード（たとえば、ワイヤレスネットワークアダプタ）は標準の PC カードより長く、コンピュータの外側にはみ出しています。拡張型 PC カードを使用する場合、次の注意事項に従ってください。

- 取り付けたカードのはみ出した部分を保護します。カードの端をぶつけると、システム基板が損傷する恐れがあります。
- コンピュータをキャリーケースに入れる場合、必ず拡張型 PC カードを取り外してください。

PC カードの取り付け

コンピュータの動作中に、PC カードを取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、PC カードは、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

PC カードを取り付けるには、次の手順を実行します。

1 カードの表を上にして持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入する必要がある場合があります。
2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。

   カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。

コンピュータはほとんどの PC カードを認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、PC カードに付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

PC カードまたはダミーカードの取り外し

注意 : コンピュータからカードを取り外す前に、PC カード設定ユーティリティを使用して（タスクバーの アイコンをクリックしてください）カードを選択し、その動作を停止してください。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。ケーブルが付いている場合、カードを取り外す際にケーブルそのものを引っぱってカードを取り外さないでください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

1 ラッチを押してカードまたはダミーカードを取り外します。

ラッチによっては、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

2 PC カードまたはダミーカードを取り外します。

スロットに PC カードを取り付けない場合に使用するダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。

7

家庭用および企業用ネットワークのセットアップ

ネットワークアダプタへの接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていること、およびネットワークケーブルが接続されていることが必要です。

ネットワークケーブルを接続するには次の手順を実行します。

1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

メモ： ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの接続を確認します。

2 ネットワークケーブルのもう一方の端を、壁のネットワークコネクタなどのネットワーク接続デバイスに接続します。

メモ： ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。

ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
2 **ネットワークセットアップウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。

メモ :「**インターネットに直接接続している**」と表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 2（SP2）で提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

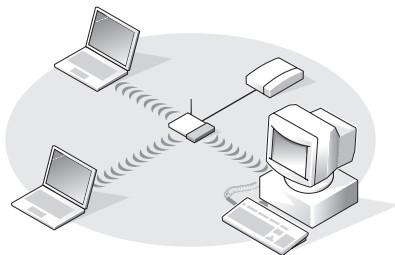
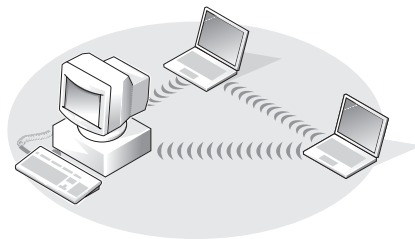
4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）への接続

メモ : これらのネットワークについての説明は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カードまたは携帯製品には適応しません。

ネットワークタイプの決定

メモ : ほとんどのワイヤレスネットワークは、インフラタイプです。

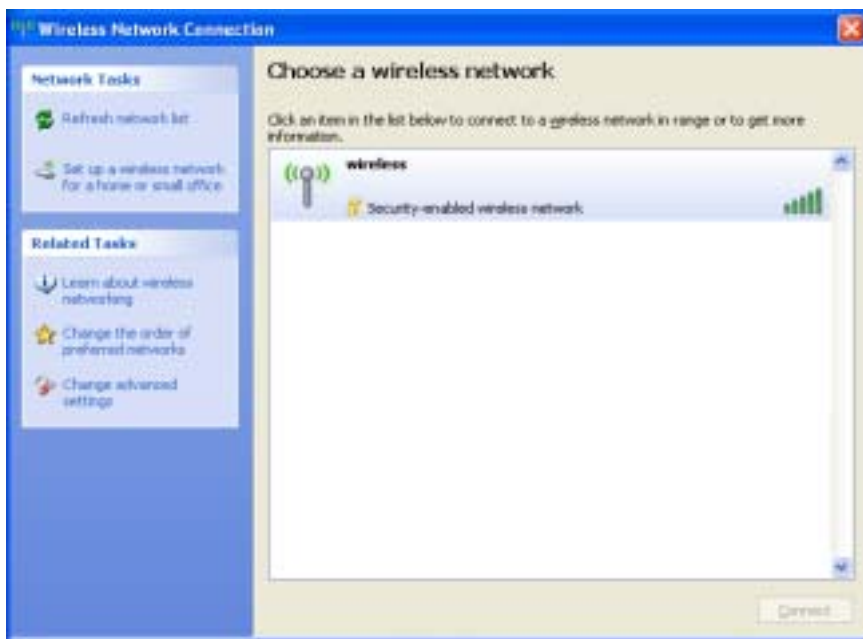
ワイヤレスネットワークは、インフラネットワークとアドホックネットワークという 2 つのカテゴリに分類できます。インフラネットワークは、ルーターまたはアクセスポイントを使用して、複数のコンピュータを一つに接続します。アドホックネットワークは、ルーターやアクセスポイントを使用せず、相互にブロードキャストするコンピュータで構成されています。

インフラネットワーク

アドホックネットワーク

Microsoft® Windows® XP でのワイヤレスネットワークへの接続

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するための専用のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーズガイドにある手順に従ってください。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト **support.jp.dell.com** から入手できます。

コンピュータの電源を入れると、コンピュータが設定されている地域以外でネットワークが検出された場合、その都度通知領域（Windows デスクトップの右下隅）にあるネットワークアイコンからポップアップが表示されます。

1 ポップアップまたはネットワークアイコンをクリックして、使用可能なワイヤレスネットワークの 1 つにコンピュータを設定します。

 ワイヤレスネットワーク接続 ウィンドウに、そのエリアで使用可能なワイヤレスネットワークが一覧表示されます。

2 設定するネットワークをクリックして選択してから **接続** をクリックするか、またはリスト上のネットワーク名をダブルクリックします。セキュアネットワーク（ アイコンで識別されます）を選択した場合は、プロンプトが表示されたら WEP キーまたは WPA キーを入力する必要があります。

メモ：ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。

お使いのネットワークは自動的に設定されます。

メモ：コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

選択したワイヤレスネットワークへのコンピュータの構成が終了すると、もう一度ポップアップが表示されて、選択したネットワークにお使いのコンピュータが接続されていることが通知されます。

これ以降は、ワイヤレスネットワークのエリアでコンピュータにログオンすると、その都度同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワーク接続であることを通知します。

8

問題の解決

Dell Diagnostics（診断）プログラム

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートに問い合わせる前に、この章にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

注意 : Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell™ コンピュータ上でのみ機能します。

ハードドライブから Dell Diagnostics（診断）プログラムを開始します。Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

メモ : コンピュータの画面に画像が表示されない場合は、103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

1. コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータをコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

   ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして（77 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照）もう一度やりなおしてみます。

5. 起動デバイス一覧が表示されたら、**Diagnostics** をハイライト表示して <Enter> を押します。

   起動前システムアセスメントが実行され、システム基板、キーボード、ハードドライブ、ディスプレイの初期テストが続けて実行されます。

   - このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
   - 問題が検出された場合は、コンピュータはビープ音を出して停止します。システムの評価を止めてオペレーティングシステムを再起動するには、<n> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
   - 起動前システムアセスメントで、問題が検出される場合は、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行する前に、そのエラーコードを書き留め、デルまでお問い合わせください。103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合は、`Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue.`（Dell Diagnostics（診断）ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。）というメッセージが表示されます。

6 任意のキーを押すと、ハードドライブ上の診断プログラムユーティリィティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムが起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

1 Dell Diagnostics（診断）プログラムがロードされ **Main Menu** 画面が表示されたら、希望のオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10 ～ 20 分かかかり、お客様の操作は必要ありません。最初に **Express Test** を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは 1 時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。

エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください。103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ：各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、適切なタブをクリックします（詳細に関しては、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。

タブ	機能 （続き）
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics（診断）プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

4 テストが完了したら、テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics（診断）プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

ドライブの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — スタート ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。フロッピードライブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

ドライブをテストします —

- 元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動可能なフロッピーディスクまたは CD を挿入し、コンピュータを再スタートします。

ドライブまたはディスクをクリーニングします — 手順については、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

CD ドライブトレイのスピンドルに CD がきちんとはまっていることを確認します

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアの非互換性を確認します — 76 ページの「ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — 53 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合」を参照してください。

DVD ドライブの問題

メモ : 高速な CD ドライブや DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。CD や DVD ドライブの故障ではありません。

メモ : 様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

DVD+RW ドライブへの書き込みに関する問題

その他のプログラムを閉じます — DVD+RW ドライブでは、書き込みの際にデータストリームを切れ目なく受信する必要があります。データの流れが中断されるとエラーが発生します。DVD+RW に書き込む前に、すべてのプログラムを閉じます

DVD+RW ディスクに書き込む前に、WINDOWS のスタンバイモードをオフにします — バッテリー駆動時間の詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照するか、または Windows ヘルプとサポートセンターでキーワードスタンバイを検索します。ヘルプにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

書き込み処理速度を低く設定します — DVD 作成ソフトウェアに関しては、ヘルプファイルを参照してください。

正しいメディアを使用していることを確認します — DVD+RW ドライブで CD-R または CD-RW などの CD メディアを使用することは可能ですが、DVD+RW を使用して DVD メディアに書き込む場合は、必ず DVD+R または DVD+RW メディアだけを使用してください。DVD-R/RW メディアを使用すると、DVD の再生に問題が発生したり、書き込みが不完全になったり、動作検証が行われたりすることがあります。

DVD または DVD+RW ドライブトレイを取り出せない場合

1. コンピュータの電源が切れていることを確認します。
2. クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
3. トレイが止まるまで慎重に引き出します。

聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

ハードドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
2 **ローカルディスク C:** を右クリックします。
3 **プロパティ** をクリックします。
4 **ツール** タブをクリックします。
5 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
6 **不良なセクタをスキャンし回復する** をクリックします。
7 **開始** をクリックします。

E- メール、モデム、およびインターネットの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メモ : モデムは必ずアナログ電話ジャックに接続してください。デジタル電話回線（ISDN）に接続した場合、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します — E- メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

1 Outlook Express で、**ツール**、**オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
2 **ウイルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線の接続を確認します —
電話ジャックを確認します —
モデムを直接電話ジャックに接続します —
他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。（ジャックは緑色のラベル、もしくはコネクタの絵柄の横にあります。）
- 電話線コネクタをモデムに差し込んだときにカチッという感触があるか確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、FAX、サージプロテクタ、またはラインスプリッタなど、その他の電話デバイスで回線を共有している場合、これらをバイパスし、モデムを直接電話ジャックに差し込みます。3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — スタート ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します。（コンピュータにより Modem Helper を利用できない場合があります。）

モデムが WINDOWS と通信しているか確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
4 **モデム** タブをクリックします。
5 モデムの COM ポートをクリックします。
6 Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。
すべてのコマンドに応答が表示されている場合、モデムに問題はありません。

インターネットへの接続を確認します — ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します。E- メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてマークを外し、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータでスパイウェアをスキャンします — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

エラーメッセージ

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

コマンド名またはファイル名が違います — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

CD ドライブコントローラエラー — CD ドライブが、コンピュータからのコマンドに応答しません。55 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

データエラー — ハードドライブからデータを読むことができません。55 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には次の文字は使用できません：¥ / : * ? “ < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

起動用メディアを挿入します — オペレーティングシステムが起動用以外の CD から起動しようとしています。起動可能な CD を挿入します。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やり直します — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — ハードドライブを取り付けなおします。79 ページを参照してください。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

.DLL ファイルが見つかりません — 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プログラムの追加と削除** をクリックします。
3 削除したいプログラムを選択します。
4 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックし、画面の指示メッセージに従います。
5 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

X:¥ にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

IEEE 1394 デバイスの問題

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します

WINDOWS が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

デル製の IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —

デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —

デルまたは IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

キーボードの問題

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

外付けキーボードの問題

メモ：外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。キーボードケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します —

1 コンピュータをシャットダウンして、1 分たってから再度電源を入れます。
2 起動ルーチン中にキーボードの Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock のライトが点灯していることを確認します。
3 Windows デスクトップで **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**→ **アクセサリ** とポイントして、**メモ帳** をクリックします。
4 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順の確認ができない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します —

1 コンピュータをシャットダウンします。
2 外付けキーボードを取り外します。
3 コンピュータの電源を入れます。
4 Windows デスクトップで **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム**→ **アクセサリ** とポイントして、**メモ帳** をクリックします。
5 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。デルにお問い合わせください。103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合、<Num Lk> を押して、テンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

フリーズおよびソフトウェアの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータが起動しない

AC アダプタがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータの応答が停止した

注意 : オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

プログラムの応答が停止した

プログラムを終了します —

1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
2 **アプリケーション** をクリックします。
3 反応がなくなったプログラムを選択します。
4 **タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする

メモ : 通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

プログラムのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前のバージョンの Windows オペレーティングシステム用にデザインされている

プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム→ アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
3 画面に表示される指示に従ってください。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、[スタート] メニューからコンピュータをシャットダウンします

コンピュータでスパイウェアをスキャンします — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します — すべてのテストが正常に終了したら、不具合はソフトウェアの問題に関連しています。Dell Diagnostics（診断）プログラムの詳細に関しては、53 ページを参照してください。

メモリの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます。81 ページを参照してください。
- メモリモジュールを装着しなおし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。81 ページを参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。53 ページを参照してください。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。81 ページを参照してください。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します。81 ページを参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。53 ページを参照してください。

ネットワークの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

ネットワークケーブルのコネクタを確認します — ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

ネットワークコネクタのネットワークインジケータを確認します — インジケータが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします

ネットワークの設定を確認します — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

PC カードの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

PC カードを確認します — PC カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

WINDOWS でカードが認識されているか確認します — Windows タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。

デルから購入した PC カードに問題がある場合 — デルにお問い合わせください。103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

デル以外から購入した PC カードに問題がある場合 — PC カードの製造元にお問い合わせください。

電源の問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

メモ : スタンバイモードの詳細については、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

電源ライトを確認します — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

バッテリーを充電します — バッテリーが充電されていないことがあります。

1 バッテリーを取り付けなおします。
2 AC アダプタをコンピュータとコンセントに接続して使用します。
3 コンピュータの電源を入れます。

メモ : バッテリー駆動時間（バッテリーが充電を保持できる時間）は時間の経過とともに低下します。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーステータスライトを確認します — バッテリーステータスライトが橙色に点滅しているか橙色に点灯している場合は、バッテリーは充電が不足しているか充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが緑色と橙色に点滅している場合、バッテリーが高温になっていて、充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください。103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

バッテリーの温度を確認してください — バッテリーの温度が 0 ℃ 以下では、コンピュータは起動しません。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

電源のプロパティを調整します —『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照するか、ヘルプとサポートセンターでスタンバイというキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

メモリモジュールを再度取り付けます — コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします。81 ページを参照してください。

プリンタの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ : プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —
- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかり接続されているか確認します。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

WINDOWS でプリンタを検出します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。
プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
3 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。USB プリンタの場合、**印刷先のポート** が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 手順については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください

スキャナーの問題

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモ：スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します — スキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます。

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

MICROSOFT WINDOWS がスキャナーを認識しているか確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2 **スキャナとカメラ** をクリックします。
お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします — 手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

サウンドとスピーカーの問題

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

内蔵スピーカーから音が出ない場合

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下にある黄色のスピーカーのアイコンをダブルクリックして、音量つまみを調節してください。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

キーボードのショートカットを使用して音量を調節します — <Fn><End> を押して内蔵スピーカーを無効(ミュート)、または再び有効にします。

サウンド(オーディオ)ドライバを再インストールします — 71 ページの「ドライバの再インストール」を参照してください。

外付けスピーカーから音が出ない場合

 メモ : MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレイヤーの音量が十分か確認してください。

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します — コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

オーディオドライバを再インストールします — 71 ページの「ドライバの再インストール」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS(診断)プログラムを実行します — 53 ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラムを使用する場合」を参照してください。

ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します。詳細に関しては、17 ページの「オーディオコネクタ」を参照してください。

WINDOWS で音量を調節します — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

タッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
2 **マウス** をクリックします。
3 設定を変更してみます。

マウスケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

1 コンピュータをシャットダウンします。
2 マウスを外します。
3 コンピュータの電源を入れます。
4 Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

タッチパッドドライバを再インストールします — 71 ページの「ドライバの再インストール」を参照してください。

ビデオとディスプレイの問題

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

画面に何も表示されない場合

メモ : お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

バッテリーを確認します — コンピュータをバッテリーで動作している場合は、充電されたバッテリーの残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続し、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します — お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電源のプロパティを調整します — Windows の ヘルプとサポートセンターでスタンバイというキーワードを検索します。ヘルプファイルにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

画面モードを切り替えます — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合は、<Fn><F8> を押して画面モードをディスプレイに切り替えます。

システムの電源を確認します — システムのバッテリーに電力があるか、またはコンセントに接続されているかを確認します。

画面が見づらい場合

輝度を調節します — <Fn> と上下矢印キーを押します。

外付けのサブウーハーをコンピュータまたはモニターから離します — 外付けスピーカーにサブウーハーが備わっている場合は、サブウーハーをコンピュータまたは外付けモニターから 60 センチ以上離します。

電気的な妨害を除去します — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

コンピュータの向きを変えます — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

WINDOWS のディスプレイ設定を調節します —

1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
3 変更したいエリアをクリックするか、**画面** アイコンをクリックします。
4 **画面の色** と **画面の解像度** で、別の設定にしてみます。

「エラーメッセージ」を参照してください — エラーメッセージが表示される場合は、58 ページを参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します —

1 コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
2 コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください。103 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ドライバ

ドライバとは ?

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにはドライバプログラムが必要です。ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。お使いの Dell コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3 **システム** をクリックします。
4 **システムのプロパティ** ウインドウの **ハードウェア** タブをクリックします。

5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（[!] の付いた黄色い丸）が付いているものがないか確認します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要になる場合があります。次のサブセクション、「ドライバの再インストール」を参照してください。

ドライバの再インストール

注意 : デルサポートサイト **support.jp.dell.com** から Dell™ コンピュータの認可されたドライバが入手できます。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

以下の方法でドライバを再インストールできます。

- Windows XP ドライバのロールバックを使用します。
- 手作業でドライバを再インストールします。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートしたためにシステムが不安定になった場合は、Windows XP のデバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3 **システム** をクリックします。
4 **システムのプロパティ** ウインドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
6 新しいドライバがインストールされたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。
7 **ドライバ** タブをクリックします。
8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼動状態にコンピュータを戻します。72 ページの「Microsoft Windows XP システムの復元の使い方」を参照してください。

手作業によるドライバの再インストール

1 要求されたドライバファイルをハードドライブにコピーした後、**スタート** ボタンをクリックし、**マイコンピュータ** を右クリックします。
2 **プロパティ** をクリックします。
3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
4 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（例えば、**モデム** または **赤外線デバイス**）。
5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
6 **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
7 **一覧または特定の場所からインストールする（詳細）**をクリックして、**次へ** をクリックします。

8 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
9 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft® Windows® XP のシステムの復元は、データファイルに影響を与えずに、コンピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- Symantec による Dell PC の復元は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。Dell PC の復元はハードドライブのすべてのデータを永久に削除し、コンピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションも取り除きます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC の復元を使用してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム CD』が付いていた場合は、この CD を使ってオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム CD』を使用すると、ハードドライブ上のデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、この CD を使用してください。

Microsoft Windows XP システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。Windows ヘルプとサポートセンターにアクセスするには、10 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。

注意 : データファイルの定期的なバックアップを行います。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。

メモ : このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

復元ポイントの作成

1 **スタート** ボタンをクリックして **ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **システムの復元** のタスクをクリックします。
3 画面に表示される指示に従ってください。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバロールバック（71 ページを参照）を使用してみます。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

注意 : お使いのコンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
2. **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認してから、**次へ** をクリックします。
3. コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。

   復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。
4. 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。

   カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合は、希望の復元ポイントをクリックします。
5. **次へ** をクリックします。

   システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。
6. コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

最後のシステムの復元を元に戻す

注意 : 最後のシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1. **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
2. **以前の復元を取り消す** をクリックし、**次へ** をクリックします。

システムの復元の有効化

200 MB より空容量が少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
2. **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
3. **システム** をクリックします。
4. **システムの復元** タブをクリックします。
5. **すべてのドライブでシステムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

Symantec による Dell PC の復元の使い方

注意 : Dell PC の復元を使用すると、ハードドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションやドライバも取り除かれます。PC の復元を使用する前にデータをバックアップしてください。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC の復元を使用してください。

メモ : Symantec による Dell PC の復元は、国によって、またはコンピュータによって使用できない場合があります。

Symantec による Dell PC の復元は、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。
PC の復元は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。コンピュータを受け取られてから追加されたデータファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。PC の復元を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

PC の復元は、以下の手順で使用します。

1 コンピュータの電源を入れます。

   起動プロセスの間、画面の上部に青色のバーで **www.dell.com** と表示されます。

2 青色のバーが表示されたら、すぐに <Ctrl><F11> を押します。

   <Ctrl><F11> を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータがスタートし終わるのを待って、もう一度再スタートします。

注意 : PC の復元をこれ以上進めたくない場合は、次の手順で **再起動** をクリックします。

3 次の画面で **復元** をクリックします。

4 次の画面で **承認** をクリックします。

   復元プロセスが完了するまでに、約 6 ～ 10 分かかります。

5 プロンプトが表示されたら、**終了** をクリックしてコンピュータを再起動します。

   メモ : コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**終了** をクリックし、コンピュータを完全に再起動させせます。

6 プロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。

   コンピュータは再起動します。コンピュータは初期の稼動状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。

7 **次へ** をクリックします。

   システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。

8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

Dell PC の復元の削除

 注意 : Dell PC の復元をハードドライブから永久に削除すると、PC の復元ユーティリティをお使いのコンピュータから削除します。Dell PC の復元を取り除いた後は、それを使ってお使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできません。

PC の復元を使用すると、オペレーティングシステムを、コンピュータをご購入になった時の状態に戻すことができます。ハードドライブのスペースを増やすためであっても、お使いのコンピュータから PC の復元を削除しないことをお勧めします。ハードドライブから PC の復元を削除すると、今後、PC の復元を呼び出すことができず、PC の復元を使用してコンピュータのオペレーティングシステムを、出荷時の状態に戻すことができなくなります。

PC の復元を削除するには次の手順を実行します。

1 コンピュータにローカルのシステム管理者としてログオンします。
2 Windows エクスプローラで、**c:¥dell¥utilities¥DSR** に移動して、
3 **DSRIRRemv2.exe** ファイルをダブルクリックします。

メモ : ローカルのシステム管理者としてログオンしない場合は、ローカルのシステム管理者としてログオンするようメッセージが表示されます。**Quit**（終了）をクリックして、ローカルのシステム管理者としてログオンします。

メモ : お使いのコンピュータのハードドライブに PC の復元用パーティションがない場合、パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。**Quit**（終了）をクリックします。削除するパーティションが定義されていません。

4 **OK** をクリックして、ハードドライブの PC の復元用パーティションを取り除きます。
5 確認のメッセージが表示されたら、**はい** をクリックします。

PC の復元用パーティションが削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが、ハードドライブのフリースペースの割り当てに加えられます。

6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク（C）** をクリックし、**プロパティ** をクリックして、**空き領域** に追加されたスペースが加えられていることを確認します。
7 **終了** をクリックして、**PC の復元の削除** ウィンドウを閉じます。
8 コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステム CD の使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、まず Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます。71 ページの「Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方」を参照してください。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。72 ページの「Microsoft Windows XP システムの復元の使い方」を参照してください。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™『オペレーティングシステム CD』
- Dell『Drivers and Utilities CD』

メモ：『Drivers and Utilities CD』には、コンピュータの組み立て時に、工場でインストールされたドライバが含まれています。『Drivers and Utilities CD』を使用して、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータをご注文になった地域、または CD をご注文になったかどうかによって、『Drivers and Utilities CD』および『オペレーティングシステム CD』が同梱されていない場合があります。

Windows XP の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

注意：『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストール用のオプションを提供しています。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。`Install Windows XP` のメッセージが表示されたら、**Exit** をクリックします。
3 コンピュータを再起動します。
4 DELL™ ロゴが表示されたらすぐに、<F12> を押します。

   オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。

5 画面の指示に従ってインストールを完了します。

ソフトウェアとハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されても間違って設定されている場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性の問題を解決します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングで非互換性の問題を解決するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2 **検索** フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、次に、矢印をクリックして検索を始めます。
3 **検索結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。

ハードウェアに関するトラブルシューティング 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

9

部品の拡張および交換

作業を開始する前に

本章では、お使いのコンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」（このページを参照）および「コンピュータ内部の作業を始める前に」（78 ページの「コンピュータ内部の作業を始める前に」を参照）の手順をすでに終えていること。
- Dell™『製品情報ガイド』の安全に関する情報をすでに読んでいること。
- コンポーネントを交換するか別途購入している場合、取り外し手順と逆の順番で取り付けができること。

奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- 細めのプラスチックスクライブ
- フラッシュ BIOS のアップデートプログラム（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** を参照）

コンピュータの電源を切る

注意：データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。

  a 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。

  b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。

  オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。

2 コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを少なくとも 8 ～ 10 秒間押したままにします。

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

警告 : 部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。

注意 : コンピュータシステムの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。

注意 : ケーブルを外すときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

1. コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
2. コンピュータの電源を切ります。77 ページを参照してください。
3. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。

注意 : ネットワークケーブルを外すには、まずネットワークケーブルをコンピュータから外し、次に壁のネットワークジャックから外します。

4. 電話ケーブルとネットワークケーブルをすべてコンピュータから外します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

5. コンピュータおよび取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外し、コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドさせたまま、ベイからバッテリーを取り外します。

6 オプティカルドライブが取り付けられている場合は、オプティカルドライブベイから取り外します。93 ページの「オプティカルドライブ」を参照してください。
7 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
8 PC カードスロットに取り付けられている PC カードを取り外します。
9 ディスプレイを閉じ、コンピュータを平らな作業台に裏返します。
10 ハードドライブを取り外します。次のサブセクション、「ハードドライブ」を参照してください。

ハードドライブ

警告：ドライブがまだ熱いうちにハードドライブをコンピュータから取り外す場合は、ハードドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。

警告：手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意：データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください（77 ページを参照）。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。

注意：ハードドライブは大変壊れやすく、わずかにぶつけただけでもドライブが損傷を受ける場合があります。

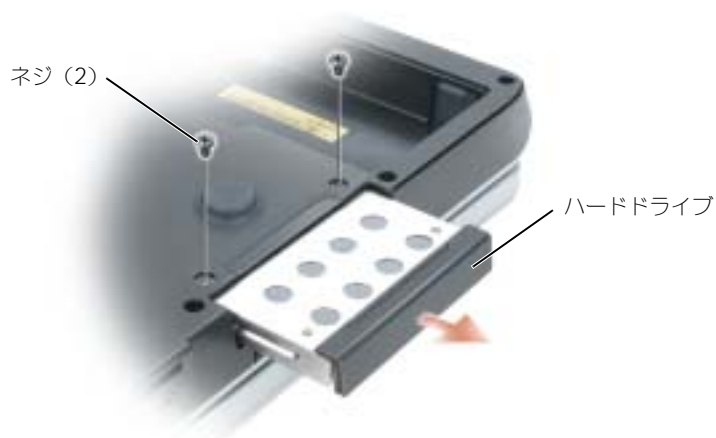
注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意：システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

メモ：デルではデル製品以外のハードドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供は行っておりません。

メモ：デル製品以外のハードドライブを取り付ける場合は、オペレーティングシステム、ドライバ、およびユーティリティを新しいハードドライブにインストールする必要があります。

ハードドライブを交換するには、次の手順を実行します。

1 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 コンピュータを裏返し、ハードドライブのネジを外します。

注意 : ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『製品情報ガイド』の「静電気障害への対処」を参照してください。

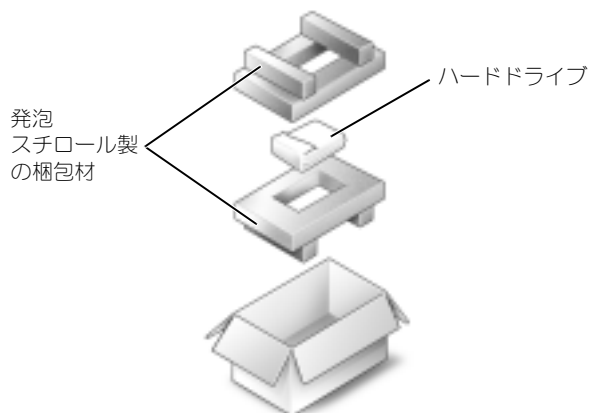
3 ハードドライブをコンピュータから引き出します。
4 新しいドライブを梱包から取り出します。

ハードドライブを保管するためや配送のために、梱包を保管しておいてください。

注意 : ドライブを所定の位置に挿入するには、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。

5 ハードドライブが完全にベイに収まるまでスライドします。
6 ネジを締めます。
7 新しいハードドライブがすでにプリイメージされていない場合、コンピュータのオペレーティングシステムおよびドライバをインストールします。

ハードドライブをデルに返品する場合

ハードドライブをデルに返品する場合は、そのドライブが梱包されていた箱、または同等の発泡スチロール製の梱包材に入れて返送してください。正しく梱包しないと、ハードドライブが運搬中に破損する場合があります。

メモリ

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、95 ページの「仕様」を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

メモ : デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

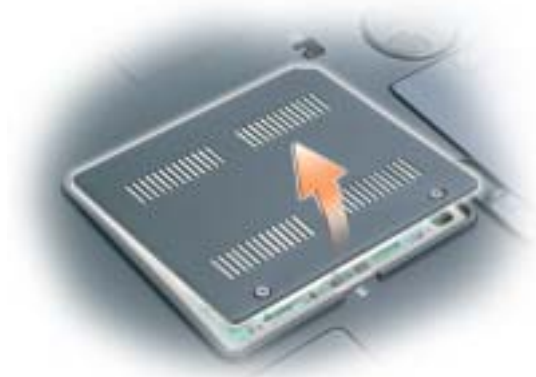
警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

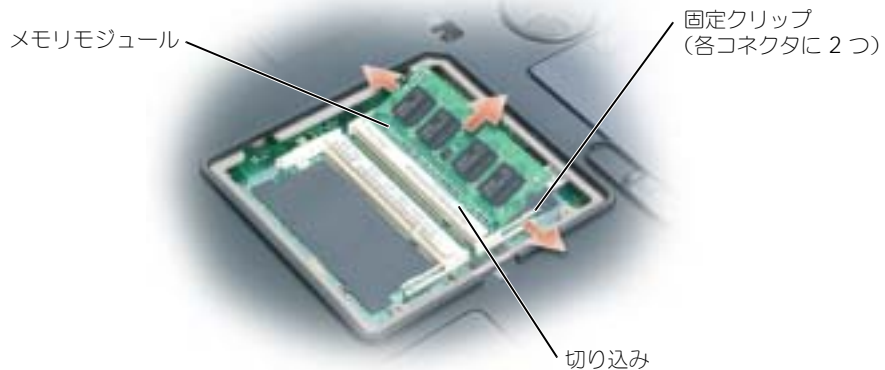
1. 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2. コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

   メモ : その場を離れた後、コンピュータに戻るときには再び静電気を除去してください。

3 コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーの拘束ネジを緩め、カバーを取り外します。

注意：メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

4 メモリモジュールを交換する場合は、既存のモジュールを取り外します。

a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。

b モジュールをコネクタから取り外します。

注意：メモリモジュールを 2 つのコネクタに取り付ける必要がある場合、メモリモジュールは、まず「DIMMA」のラベルの付いているコネクタに取り付け、次に「DIMMB」のラベルの付いているコネクタに取り付けます。コネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールは 45 度の角度で差し込んでください。

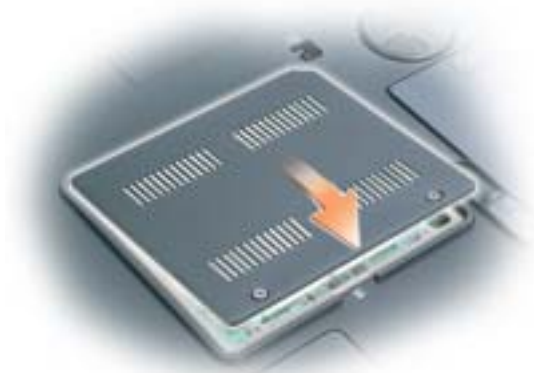
メモ：メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

5 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。

a モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。

b モジュールを 45 度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。

6 メモリモジュールカバーを取り付けます。

注意 : カバーが閉めにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

7 バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

8 ハードドライブを取り付けなおします。79 ページの「ハードドライブ」を参照してください。

9 オプティカルドライブを取り付けなおします。93 ページの「オプティカルドライブ」を参照してください。

10 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。プロンプトが表示されたら、<F1> を押して続行します。

コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

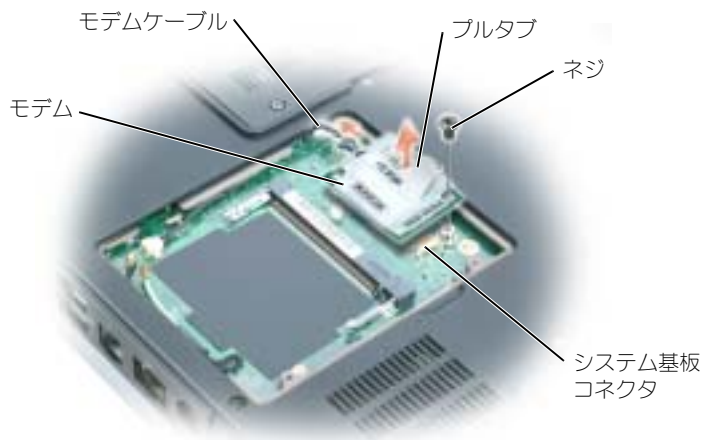
モデム

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

1 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 コンピュータを裏返して、モデムカバーの拘束ネジを緩めます。
3 指をカバーの下のへこんだ部分に置き、カバーを持ち上げて開きます。

4 既存のモデムを取り外します。
   a モデムをシステム基板に固定しているネジを外して、横に置きます。
   b 取り付けられているプルタブをまっすぐ持ち上げ、モデムをシステム基板上のコネクタから引き上げて、モデムケーブルを取り外します。

5 交換用のモデムを取り付けます。

a モデムケーブルをモデムに接続します。

注意：コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。

b モデムとネジ穴を合わせて、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。

c モデムをシステム基板に固定するネジを取り付けます。

6 モデムカバーを取り付けます。

ミニ PCI カード

お使いのコンピュータで使用するミニ PCI カードを注文された場合は、カードはすでに取り付けられています。

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意：システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

1 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 コンピュータを裏返して、モデムカバーの拘束ネジを緩めます。

3 指をカバーの下のへこんだ部分に置き、カバーを持ち上げて開きます。

4 ミニ PCI カードがまだ取り付けられていない場合、手順 5 に進みます。ミニ PCI カードを交換する場合、既存のカードを取り外します。

a ワイヤレスカードがコンピュータに取り付けられている場合、アンテナケーブルをミニ PCI カードから取り外します。

b ミニ PCI カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製固定タブを広げます。

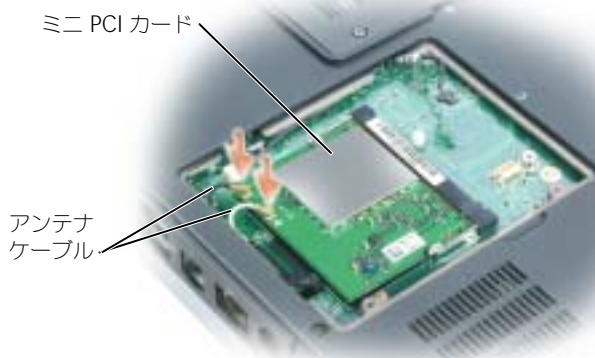
c ミニ PCI カードをコネクタから持ち上げます。

注意：コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。

5 交換用のミニ PCI カードを取り付けます。

a ミニ PCI カードを 45 度の角度でコネクタに合わせ、カチッと収まるまでコネクタに押し込みます。

注意：ミニ PCI カードの損傷を避けるため、ケーブルをカードの下に置かないでください。

b ワイヤレスカードがコンピュータに取り付けられている場合は、アンテナケーブルをミニ PCI カードに接続します。

6 モデムカバーを取り付けます。

ヒンジカバー

警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意：システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

1 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 ヒンジカバーを取り外します。

a ディスプレイを完全に（180 度）開いて、作業面に対して平らになるようにします。

注意：ヒンジカバーへの損傷を防ぐため、カバーの両側を同時に持ち上げないでください。

b スクライブをくぼみに挿入し、ヒンジカバーの右側を持ち上げます。

c ヒンジカバーを緩めて持ち上げ、右から左に動かして取り外します。

ヒンジカバーを取り付けるときには、まず左側を挿入して次に左から右に押し、カバーを所定の位置にカチッという感触が持てるまではめ込みます。

キーボード

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

1. 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2. ディスプレイを開きます。
3. ヒンジカバーを取り外します。88 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
4. キーボードを取り外します。
   - a キーボードの上部にある 2 つのネジを外します。

注意 : キーボード上のキーキャップは壊れたり、外れたりしやすく、また取り付けに時間がかかります。キーボードの取り外しや取り扱いには注意してください。

   - b キーボードを持ち上げて少し前方にスライドさせ、キーボードのコネクタにアクセスできるようにします。
   - c キーボードコネクタのプルタブを引き上げて、キーボードコネクタをシステム基板から取り外します。

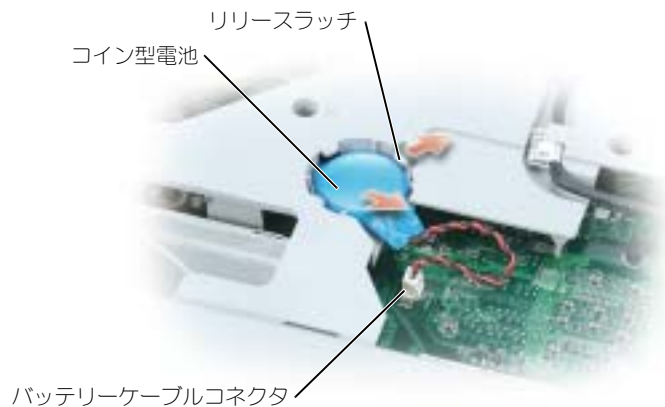
注意 : キーボードを取り付けるときにパームレストに傷が付かないように、キーボードの正面の端に沿ってある 5 つのタブをパームレストに引っ掛け、キーボードを所定の位置に固定します。

コイン型電池

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

1 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 ヒンジカバーを取り外します。88 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
3 キーボードを取り外します。89 ページの「キーボード」を参照してください。
4 既存のバッテリーを取り外します。
   a バッテリーケーブルコネクタをシステム基板から取り外します。
   b コイン型電池の実装部の側面にあるリリースラッチを押して、電池を持ち上げます。

5 交換用の電池を取り付けます。

a 電池を 30 度の角度でプラス側を上にしてリリースラッチの下に挿入し、所定の位置まで電池を押し入れます。

b バッテリーケーブルをシステム基板上のコネクタに接続します。

6 キーボードを取り付けます。

7 ヒンジカバーを取り付けます。

ディスプレイ

警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

1 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 2 つの拘束ネジを緩めて、ミニ PCI カードカバーを取り外します。

3 アンテナケーブルをミニ PCI カードから取り外します。

4 ヒンジカバーを取り外します。88 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
5 ディスプレイを固定している 4 つのネジを外します。
6 プルタブを使用してディスプレイケーブルを外します。

7 ディスプレイを 90 度の角度でコンピュータから持ち上げて外します。アンテナケーブルおよびディスプレイケーブルが、経路指定チャネルから離れ、ディスプレイを持ち上げたときにケーブルがスムーズに動くことを確認します。

ディスプレイを取り付ける際には、ディスプレイケーブルの周囲にあるリボンテープが、しっかりとタブの下にしまい込まれるようにします。ヒンジカバーの開口部を通してアンテナワイヤを挿入し、システム基板の穴に通します。アンテナワイヤがねじれないように、しっかりとミニ PCI カードに取り付けられているか確認します。

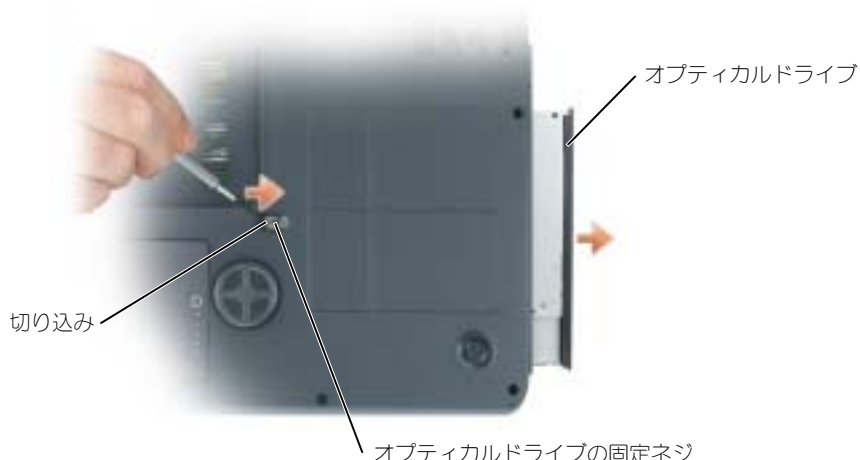
オプティカルドライブ

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

1 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。

2 コンピュータを裏返します。

3 オプティカルドライブの固定ネジを外します。

4 スクライブを切り込みに挿入して横に押し、ドライブをベイから取り出します。

5 ドライブをスライドさせてベイから取り出します。

オプティカルドライブを取り付けなおすには、ドライブをドライブベイにスライドさせ、所定の位置にカチッと押し込みます。次に、オプティカルデバイス固定ネジを取り付けます。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジの内蔵カード

⚠ **警告 : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

注意 : 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

注意 : システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジのカードを購入された場合は、お使いのコンピュータにすでにインストールされています。

1 77 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
2 バッテリーを取り外します。27 ページの「バッテリーの取り外し」を参照してください。
3 拘束ネジを緩め、カードカバーをコンピュータから取り外します。
4 カードを実装部から引き出し、カードをケーブルから外してコンピュータから取り外します。

5 カードを取り付けるには、カードをケーブルに接続してから、実装部に慎重に挿入します。
6 カードカバーを取り付けて、ネジを締めます。
7 バッテリーを取り付けます。

10

付録

仕様

プロセッサ	
プロセッサの種類	Intel® Pentium® M
L1 キャッシュ	64 KB
L2 キャッシュ	2 MB
外付けバスの周波数	533 MHz

システム情報	
システムチップセット	Intel 915PM
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	デュアルチャネルバス
プロセッサアドレスバス幅	36 ビット
フラッシュ EPROM	1 MB
PCI バス （ビデオコントローラに使用される PCI Express）	32 ビット x16

PC カード	
カードバスコントローラ	Ricoh R5C841
PC カードコネクタ	1（タイプ I または タイプ II カード 1 枚に対応）
サポートするカード	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅（最大）	PCMCIA 16 ビット カードバス 32 ビット

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	ユーザーがアクセス可能な SODIMM コネクタ X 2
メモリモジュールの容量	256 MB、512 MB、および 1 GB
メモリのタイプ	1.8 V SODIMM DDR-II
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	2 GB

ポートとコネクタ	
オーディオ	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
IEEE 1394a	電源を装備していない 4 ピンミニコネクタ
ミニ PCI	タイプ IIIA ミニ PCI カードスロット
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
S ビデオ TV 出力	7 ピンミニ DIN コネクタ
USB	4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ x 6
ビデオ	15 ピンコネクタ（メス）
SDI/O	1 スロット
DVI-D（デジタルビデオインタフェース）	24 ピンコネクタ

通信	
モデム：	
タイプ	V.9x 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	内部 AC '97 バス
ネットワークアダプタ	システム基板にある 10/100 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵 ミニ PCI Wi-Fi 対応、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ内蔵カード

ビデオ	
ATI	
データバス	PCI Express x16
ビデオコントローラ	ATI Mobility Radeon X300
ビデオメモリ	64 MB HyperMemory または 128 MB
LCD インタフェース	RGB、LVDS、TV コンポジット、S ビデオ
テレビサポート	S ビデオおよびコンポジットモードでの NTSC または PAL
NVIDIA	
データバス	PCI Express x16
ビデオコントローラ	G Force Go 6800 Ultra
ビデオメモリ	256 MB
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S ビデオおよびコンポジットモードでの NTSC または PAL

オーディオ	
オーディオタイプ	AC'97（ソフトオーディオ）
ステレオ変換	18 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	PCI バス / AC'97
外付け	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
スピーカー	ステレオ 2 W メインスピーカーおよびバスリフレックスポート付き 5 W サブウーハー
内蔵スピーカーアンプ	チャネル毎 2 W メインアンプおよび 5 W クラス D サブウーハーアンプ
ボリュームコントロール	キーボードショートカット、プログラムメニュー、メディアコントロールボタン
オーディオコントローラ	Sigmatel STAC9750 AC'97 Codec

ディスプレイ	
タイプ（wide aspect アクティブマトリックス TFT）	WXGA+、WUXGA
寸法：	
縦幅	245.0 mm
横幅	383.0 mm
対角線	431.8 mm

ディスプレイ（続き）	
最大解像度：	
WXGA+	1440 × 900、16,700,000 色
WUXGA	1920 × 1200、16,700,000 色
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0（閉じた状態）～ 180°
可視角度（通常）：	
WUXGA	
水平方向	±65°
垂直方向	+45°/–45°
WXGA+	
水平方向	±40°
垂直方向	+15°/–30°
ピクセルピッチ	
WXGA+	0.255 mm（17 インチディスプレイ）
WUXGA	0.191 mm（17 インチディスプレイ）
消費電力（背面ライト付きパネル）（標準）：	7.54 W
コントロール	輝度はショートカットキーによって調節可能

キーボード	
キー数	87（アメリカ、カナダ）、88（ヨーロッパ）、91（日本）
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド	
X/Y 位置解像度（グラフィックステーブルモード）	240 cpi
寸法 ：	
横幅	73.0 mm のセンサー有効領域
縦幅	42.9 mm の長方形

バッテリー	
タイプ	9 セルの「スマート」リチウムイオン 6 セルの「スマート」リチウムイオン
寸法：	
長さ	88.5 mm
縦幅	21.5 mm
横幅	139.0 mm
重量	0.40 kg（9 セル）0.26 kg（6 セル）
電圧	10.8 VDC
充電時間（概算）:	
電源が切れている場合	2 時間（2 時間で 80%）
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。64 ページの「電源の問題」を参照してください。 バッテリーの動作時間の詳細に関しては、25 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。
寿命（概算）	500 サイクル（充電 / 放電）
温度範囲 ：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃

AC アダプタ	
入力電圧	90 ～ 264 VAC
入力電流（最大）	1.7 A
入力周波数	47 ～ 63 Hz
出力電流	4.5 A（4 秒パルスのとき最大）、 3.5 A（継続）
出力電力	90 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法：	
縦幅	27.94 mm
横幅	58.42 mm
長さ	133.85 mm
重量（ケーブル含む）	0.4 kg

AC アダプタ （続き）	
温度範囲 ：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃

サイズと重量	
縦幅	41.5 mm
横幅	394 mm
長さ	288 mm
重量（6 セルバッテリー）:	
オプティカルドライブを含む	3.49 kg

環境	
温度範囲 ：	
動作時	0 ～ 35 ℃
保管時	–40 ～ 65 ℃
相対湿度：	
動作時	10 ～ 90 %（結露しないこと）
保管時	5 ～ 95 %（結露しないこと）
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用したとき）:	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.3 GRMS
最大衝撃（2 ミリ秒の正弦半波パルスで測定)：	
動作時	143 G
保管時	163 G
高度（最大）:	
動作時	–15.2 ～ 3,048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m

セットアップユーティリティの使い方

概要

メモ：セットアップユーティリティにおける使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。（**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。）オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、Windows のヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプにアクセスするには、9 ページの「情報の検索方法」を参照してください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブパスワードの設定
- 電源管理設定
- 起動（スタートアップ）設定および画面設定
- ドッキングデバイス設定
- ワイヤレスコントロール設定

注意：熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップユーティリティ画面の表示

1. コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
2. DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

セットアップユーティリティ画面

セットアップ画面は、3 つの情報ウィンドウで構成されています。左側のウィンドウには、管理項目がサブカテゴリーを内に含む状態で表示されます。項目（**System**、**Onboard Devices**、**Video** など）を選択（ハイライト表示）して <Enter> を押すと、関連するサブ項目を表示または非表示にできます。右側のウィンドウには、左側のウィンドウで選択されている項目またはサブ項目に関する情報が表示されます。

下側のウィンドウには、キー操作によるセットアップユーティリティの管理方法が表示されます。これらのキーを使用して、項目の選択、その設定の変更、セットアップユーティリティの終了などの操作をします。

通常使用するオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序 は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

メモ：一回のみ起動順序を変更するには、102 ページの「一回のみの起動の実行」を参照してください。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Internal HDD**
- **USB Storage Device**
- **CD/DVD/CD-RW drive**
- **Modular bay HDD**

メモ：前に番号が付いているデバイスだけが起動可能です。

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示し）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは前に番号が付いており、無効にされたアイテムは前に番号が付いていません。
- リスト内のデバイスの順序を変更するには、デバイスをハイライト表示し、<u> を押してデバイスをリストの上部に移動するか、または <d> を押してリストの下部に移動します。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに、一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

1. **スタート** メニューから、コンピュータをシャットダウンします。
2. コンピュータがドッキングデバイスに接続されている場合、ドッキングを解除します。ドッキングデバイスの手順については、付属のマニュアルを参照してください。
3. コンピュータをコンセントに接続します。
4. コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

5 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。

コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（テクニカルサポート）
- **premier.dell.co.jp/premier/**（教育機関、行政機関、医療機関、および中企業 / 大企業のカスタマー、ならびにプレミア、プラチナ、およびゴールドカスタマーのためのテクニカルサポート）

メモ：一部の国では、別に表示されている電話番号で Dell XPS ノートブックコンピュータ専用のテクニカルサポートをご利用いただけます。XPS ノートブックコンピュータ専用の電話番号が表示されていない場合は、表示されているテクニカルサポートの番号でデルに電話をかけると、担当者に転送されます。

デルへお問い合わせになるときは、デルの電話番号、E- メールアドレスをまとめた次の表を参照してください。どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方に関しては、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号市外局番	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび E- メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本（川崎）	ウェブサイト：**support.jp.dell.com**	
国際電話アクセスコード：**001**	テクニカルサポート（Dimension および Inspiron）	フリーダイヤル：0120-198-226
国番号：**81**	日本国外のテクニカルサポート（Dimension および Inspiron）	81-44-520-1435
市外局番：**44**	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

Macrovision 製品通知

この製品には、米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

索引